

『汝須く一身の安堵を思はば、

先ず四表の静謐を祈るべきか』

(高祖日蓮聖人・立正安国論より)



今年もご先祖様をはじめ数多くの精霊の冥福を祈って、お盆やお彼岸の供養をされることと存じます。高祖日蓮聖人は「一身の安堵」を思うなら、まず「四表の静謐」つまり国中の平和（現代なら世界平和）地球上みんなの幸せ）を祈るのが当然ではないかと説かれています。

現代は文化が発展し秩序ある社会が構成されているように思えますが、反面、社会のひずみ（国内事情の不安・経済不況・世界情勢の緊張等）があり、裏側では大小を問わず事件・災難もエスカレートしています。日蓮聖人の生きられた鎌倉時代も、地震・飢饉・疫病・蒙古の侵略等、多くの災難により社会は動乱の渦と化していました。人々は人間の悪性や、死の存在を嫌というほど味わわれ、その現実の苦しみより逃れる方法を求めることにのみ一所懸命でした。

このような危険な状態にありながら、自分だけ幸福でありたいと願い、自分だけは大丈夫という気持ちで人生への反省がなければ、空しく孤独な生き方に終わり、実りある人生は送れないのではないのでしょうか。充実した人生を送りたいのは誰も同じです。故に日蓮大聖人は、先ず死を真剣に見つめるなら自ずとその生き方がわかる。それには法華経によって、個人から社会へと平和⇄幸せの光を向けることが必要であるとお示しです。

◆ 秋のお彼岸 ◆ 九月二十三日（水・祝） 午後2時より

お彼岸とは、六波羅蜜〔布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧〕修行の実践週間のことです。春分・秋分の日をはさんで前後各三日の七日間は、日常生活の中で自らを振り返る修行をし、ご先祖様のご供養をする大切な期間となります。

本住寺では、本堂にて総ての檀家さんの先祖供養の為のお経をおがんでおります。お経の途中でもご自由にお入りいただいて構いませんので、お寺参りを兼ねて、是非お気軽にお参りくださいませ。なお、卒塔婆供養を希望される方は、別紙申込書をご覧の上お申し込みください。

◆ 本住寺 信行会 ◆ 命に合掌

本住寺では、日常生活の中で楽しく手を合わせる事が出来るよう、月に一度、お題目を唱えることを中心にお経や作法を楽しく実践する『信行唱題会』と、本堂で心静かに観音経のお写経をする『観音経写経会』を開催しております。御宝前の仏様に手を合わせて、お経やお題目を通して神仏やご先祖様の存在を身近に感じ、楽しい毎日を通り越すきっかけとしてみてはいかがでしょうか？

初心者歓迎！ どなた様でも簡単にご参加いただけます。必要な道具等はお寺に揃っておりますので、興味がある方は是非お気軽にお越しください。

信行唱題会 毎月第2火曜日 午後2時より
観音経写経会 毎月第3土曜日 午前10時〜午後7時の間、いつでも。

本住寺 妙見山本住寺

倉敷市真備町服部一五八七

☎ 〇八六(六九八)九七七〇
http://www.honjuzi.com/

*仏事に関すること等でお悩みやお困り事等がございましたら、お気軽にご相談ください。
*法事のご予約はお早目にお願いたします。お寺の都合により、ご希望される日時でもお受けできない場合がございますので、ご了承ください。